

[第 146 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年 1月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 2 月 3 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.302～(用意します)
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

1月6日(土)、安曇川公民館で第 145 回藤樹人間学塾を開きました。今回は初参加者、大津からの参加者を入れて 8 名でした。

■ テキスト 中江藤樹著『鑑草』の余録 春風

■ あらすじ

(1) 学問は数多あるが心を修める学問が正真の学問である。なぜなら天下第一の宝である明德を正しく理解することだからである。金銀も宝ではなくはないが、人の心の苦しみをなくし、常に心の安寧を得られるものではないので天下第一の宝ではない…。



■ 配布資料

(1) 「まなざし 464 号」、(2) 清沢満之「天命に安んじて人事を尽くす」、(3) 「人生の大事」(致知)、(4) 五木寛之、青山俊董「一大事とは今日只今の心なり」(致知)

■ 今日のポイント

・ 私たちが生まれながらに授かった身体と心は大宇宙(太虚、神仏)とつながっている。人としてこの世に生まれるのは、1 億円の宝くじに百万回連続して当たるほどに稀有なこと。私たちの心には明德という天下第一の宝が備わっている。そのことを正しく理解することが肝要である。これを体得して感謝して生きれば、八苦(生苦、老苦、病苦、死苦、愛別離苦、怨憎会苦、求不得苦、五蘊盛苦)がなくなり、心常に楽しみ、何事も思いのまま、富んでも貧しくても、順境でも逆境でも関係なし。

金銀(お金)は人の作り出したもので、第二の宝である。人間の命を保つものだが、悪く使えば必ず人を殺す。貧しい者はこれを得ることを願い、富者はこれをなくすことを恐れる。

・ 「どんな日もかけがない一日と受けとめて、丁寧に生きることが大切と感じています」(五木寛之)。「24 時間、いまここ、いまここを積み重ねて、どの一瞬も大事に生きていきたいものです」(青山俊董)。「明日死ぬかのように生き、永遠に生きるかのように学ぶ」(ガンジー)。

■ フリートーク

- ・ 「『人事を尽くすことに先んじて天命に安んじる』。この言葉を大切に心に留めたい」
- ・ 「明德を明らかにすることで八苦がなくなるのは、先月学んだ般若心経で神仏に身を任せて苦がなくなるのと同じだと感じた」

他、いろいろなご意見をいただきました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。